

ご あ い さ つ

岡山県立真庭高等学校のホームページをご覧ください、
ありがとうございます。

本校は、地域社会に貢献する多くの人材を輩出してきた
落合高校と久世高校の歴史と伝統を継承して平成23年に
開校し、地域をフィールドに学び、21世紀を生き抜く人
材の育成に努めています。

二つの校地を有し、落合校地には、地域と連携し行動す
る「普通科」、5年一貫教育による看護師資格取得を目指
す「看護科・専攻科」を、久世校地には、緑を育み、人と
ふれあい、社会で輝く実践力を身につける「生物生産科」、
地産地消を実現する食のスペシャリストを目指す「食品科学科」を設置しています。



岡山県立真庭高等学校長
赤松 一樹

開校以来、地元住民会や学校園、真庭市等、地域の皆様からの協力と連携をいただきながら、郷土の自然等をテーマにした探究活動、地元産品を用いた商品開発や商店街活性化活動、学校園との農業体験交流、ふれあい市等、真庭 Try&Report（総合的な学習の時間）や課題研究、農業クラブ活動、家庭クラブ活動などを推進しており、平成26年9月にはユネスコスクールへの加盟が承認されました。

生徒の活躍もめざましく、昨年は日本学校農業クラブ全国大会意見発表大会において全国最優秀賞・文部科学大臣表彰、全国高等学校家庭クラブ研究発表大会ホームプロジェクトの部において全国第3位の獲得をはじめ、種々のコンテストに参加・入賞しています。部活動においても、箏曲部が県大会で優勝し、今夏に長野県で開催される全国高等学校総合文化祭に県代表として参加するなど、各部が活躍しています。さらに、本校教職員組織が地域との連携・協働の推進に特に顕著な成績をあげたとして文部科学大臣優秀教職員表彰の栄誉を受けました。

高校生の今だからできることがある。真庭だからできることがある。頭も、体も、心も動かし。そんな学びを目指します。地域で行動する授業、地域と連携した授業、地域に貢献する授業をモットーに、地域や社会に貢献できる実践力を身につけた若者を育ててまいります。

地域の皆様、保護者の皆様、学校関係者の皆様、そして、本ホームページをご覧ください、
ごあいさつとさせていただきます。

平成30年4月